

6
月号

学校だより



「未知への挑戦」 (副校長 中島 雄佑)

大人も子供も「未知」は苦手です。「新たに」も同様です。昨年度、仮設校舎に引っ越し「未知」への挑戦を始めて1年分の知見を得ました。しかし今年度は6学級増で始まり更なる「未知」もしくは「混沌」の状況になっています。そんな中、私たちは校長先生を中心に「ソフトランディング」で打開策を考え、みんなが苦手な急な変化を伴わない方法で「秩序化」を行っています。徐々に徐々にゆっくりと着地点を探し、課題解決を目指しています。仮設校舎での新しい日常づくりは、まだまだたくさんの整備が必要なのです。

小学部より (3年担任 梅原 花絵)

5月14日、小学部3・4年生は、春の遠足で多摩動物公園へ行きました。天気が心配でしたが、子供たちの願いが叶い、無事に行くことができました。マレーバクやサイ、インコなど様々な動物を間近で見ることができ、子供たちは興味津々でした。見学あとは楽しみにしていたお弁当。たくさん歩いたあとのお弁当は格別。皆おいしくあつという間に食べました。帰りは、3年生はスクールバスで学校へ。4年生は電車で新宿駅まで帰りました。笑顔溢れる、楽しい遠足となりました。



中学部より (学部主任 玉野 希)

新年度がスタートして2か月が経ち、2年生・3年生は環境の変化にも慣れ始め、新宿NPOでの保健体育の学習や園庭での朝の運動に取り組んでいます。新入学の1年生も、小学部との違いを少しずつ受け入れながら、学習に取り組んでいます。

先月は1年生が中野区立南中野中学校との学校間交流を行いました。旧校舎時代には学校が近く、全学年で交流していましたが、校舎移転に伴い昨年度は実施せず、今回は2年ぶりの実施となりました。

当日は体育祭のリハーサルを見学し、本校生徒が作成した応援旗を贈呈しました。目の前で繰り広げられる「台風の目」のスピード感やダイナミズムに、声援を送ったり、じっと見つめたりと反応は様々でしたが、入学後初めての校外での学習に意欲的に取り組む姿が見られました。



高等部より (学部主任 森久保 歩)

今月より部活動の仮入部期間が開始されました。初めて経験する活動に緊張した様子も見られますが、新しい仲間や環境に触れながら、少しずつ学校生活の幅を広げています。

また、さまざまな活動を体験する中で、楽しさだけでなく、協力することや継続して取り組むことの大切さにも触れている機会となっています。

こうした新しい活動への挑戦が始まる中、保健体育の授業でも、6月1日(月)より都立新宿山吹高等学校のプールで水泳指導を開始します。まずは高等部2年生が実施し、その後に高等部1年生、3年生と続きます。



しいの木分教室より (高等部担任 北村 僚真)

しいの木分教室には、広大な畑があります。生活単元学習や作業学習で、年間を通じて農作業を行っています。育苗・加工など、本格的な作業を行う中で、仕事への責任感や協力することの大切さを学んでいます。今年2月には、6月のさくら校舎との交流に向けて20台のプランターにキタアカリ種のじゃがいもの種イモを植えました。毎日の水やりや間引き作業を全員で頑張りました。さくら校舎の皆さんと一緒に、じゃがいもの収穫ができることを楽しみにしています。

